

会 議 録

1 会議名

平成30年度第1回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

平成30年度地域活動支援事業のヒアリング（公開）

3 開催日時

平成30年4月28日（土）午前8時30分から午後0時00分まで

4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：丸山 進（会長）、西山新平（副会長）、飯田秀治、五十嵐正則、折笠弘志、
佐藤祐子、清水薫、中川よしえ、難波一仁、前山美智弘、渡辺喜一

・事務局：牧区総合事務所 山本所長、橋詰次長、綿貫班長、近藤主任

8 発言の内容（要旨）

【橋詰次長】

会議の開会を宣言

上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【丸山会長】

挨拶

【山本所長】

挨拶

【丸山会長】

本日の流れについて、事務局に説明を求める。

【事務局】

—説明—

【丸山会長】

本日のヒアリングの審査等について質疑を求める。

【一同】

なし

【丸山会長】

会議録の確認：前山美智弘委員に依頼

これよりヒアリングを開始することとし、支援事業提案者の入室を求める。

【丸山会長】

提案者に対し、提案説明と委員からの質問を含めて10分を予定しているので、説明及び回答は簡潔にし、多くの事業が採択される場合などは、提案どおりの補助金額とならない場合があることを説明する。(以下、提案者全員に上記内容について、丸山会長が説明した後に、提案者の説明を受ける)

【丸山 進会長】

事業No. 1の提案者に説明を求める。

【提案者1】

事業No. 1「柳島サロン研修会等支援事業」について、提案書により説明。

【丸山 進会長】

委員から質問を求める。

【清水委員】

椅子はいくつ購入するのか。

【提案者1】

20個購入する。

【折笠委員】

総会会場は、1階か2階か。また、購入する椅子は座椅子か。

【提案者1】

サロンは1階、総会は大人数のため1階より広い2階で開催している。

椅子は座椅子である。

【丸山会長】

ほかに質問を求めるがなかったため、事業N o. 1については終了する。

【丸山会長】

事業N o. 2 の提案者に説明を求める。

【提案者2】

事業N o. 2 「屋号を活かし、地域を活性化させる事業」について、提案書により説明。

【丸山 進会長】

委員から質問を求める。

【飯田委員】

当町内会でも町内会長から意向調査があった。年配の方には受けが良い。しかし若い方のなかには、個人情報観点から表札を表示しないのに、なぜここにきて屋号を表示するのかという意見があるが、提案者の意見を聞きたい。

【提案者2】

屋号そのものに対する考え方は、年配の方と若い方と考え方が違うことは分かっている。屋号看板作製について、町内会長を通じてお願いするものであり、常会等で説明してもらおう。若い方が常会に出席し、看板は作製しないと回答しても、家に帰ると年配の方は作製したいと意見が食い違う。玄関に掲示できない場合、家の中に掲示する家庭もあり、それぞれの家庭で工夫している。屋号を守る会は、強制して作製を促しておらず、あくまでも希望制である。

【清水委員】

看板の材質は何を使っているのか。

【提案者2】

サイズがA 4版より大きめのケヤキを使っている。

【丸山会長】

残りいくつの町内会に声をかけるのか。

【提案者2】

10町内会である。

【西山副会長】

当町内会でも町内会長から意向調査について話があったが、細かな説明がなかった。

町内会長の考え方によって各町内会に温度差があるように感じる。看板作製が決定した場合、町内会長へ詳しく説明をお願いしたい。

【提案者2】

正式に看板作製が決定したら町内会長へ詳しく説明を行う。

【丸山会長】

ほかに質問を求めるがなかったため、事業No. 2については終了する。

【丸山会長】

事業No. 3の提案者に説明を求める。

【提案者3】

事業No. 3「ふしぎ池の水位研究を発信し、社会の安全性向上を目指す事業」について、提案書により説明。

【丸山 進会長】

委員から質問を求める。

【中川委員】

水位の変化について、上越市域の中での変化は見られなかったか。

【提案者3】

池と2つの井戸で水位を計測しているが、平成22年に発生した地震の際は、夏も冬も異常な変化がみられた。

【中川委員】

水位の観測について、個人的に観測しているものなのか、または地域の方がどれだけ関わりをもっているのか、お聴きしたい。

【提案者3】

昔からある生産組合の仲間4軒8人で、これから関わりを構築していく。

【丸山会長】

ほかに質問を求めるがなかったため、事業No. 3については終了する。

【丸山会長】

事業No. 4の提案者に説明を求める。

【提案者4】

事業No. 4「原地区集落ネットワーク圏都市交流活性化事業」について、提案書によ

り説明。

【丸山 進会長】

委員から質問を求める。

【清水委員】

予算書にある委託料とは何か。

【提案者4】

委託料とは、深山荘の一室を借り、天ぷらを調理してもらうまでの一式の料金である。

【中川委員】

事業のほとんどが大学生の旅費となっている。地元の方への人件費は、ほかの方法で賄えるのかお聴きしたい。

【提案者4】

地元の者への人件費は、バックホウの利益で賄える。

【中川委員】

この事業は新規事業ではなく、昨年を引き続く内容に見受けられるがいかがか。

【提案者4】

名古屋市立大学及び岐阜大学の力を借りて、活性化プランにある、農を通じた都市交流が根付いているかどうかを検証してもらうものである。

【中川委員】

検証するのに、外部へこれだけのお金を使わなければならないのか理解できない。

【提案者4】

ここまで計画を立てるにあたり、突出した旅費等の組み方ではない。二年間の実績を踏まえ提案したものである。

【中川委員】

この提案が採択されない場合はどうなるのか。

【提案者4】

その場合は、バックホウの利益で実施する方向で検討する。

【丸山会長】

旅費について、2年間の実績を踏まえ、大学生の皆さんから来てもらうという事よいか。

【提案者4】

構成している10町内会へ広がるように大学生の力を借りて検証するものである。

【丸山会長】

ほかに質問を求めるがなかったため、事業No.4については終了する。

【丸山 進会長】

事業No.5の提案者に説明を求める。

【提案者5】

事業No.5「地域づくり事業」について、提案書により説明。

【丸山 進会長】

委員から質問を求める。

【西山委員】

募集定員をオーバーした場合は対応できるのか。

【提案者5】

大型観光バスをチャーターするため、45人まで対応可能である。30人というのはあくまで目安である。

【難波委員】

個人負担金について伺いたい。

【提案者5】

今年度の個人負担金は、入館料や昼食代として3,000円程度を予定している。

【丸山会長】

ほかに質問を求めるがなかったため、事業No.5については終了する。

【丸山会長】

事業No.6の提案者に説明を求める。

【提案者6】

事業No.6「『うたって・おどって・みて』楽しい暮らしを応援事業」について、提案書により説明。

【丸山 進会長】

委員から質問を求める。

【難波委員】

夢まつりの参加者はどれくらいか。

【提案者6】

出演者含めて250人くらいである。

【西山副会長】

夢まつりは例年、7月に開催しているが、小中合同文化祭と合同で開催することはできないか。

【提案者6】

検討したい。

【五十嵐委員】

踊りやダンスを発表される団体は、毎年、曲や内容が違うものを発表するために、指導者をお願いし謝礼を支払っているのか。

【提案者6】

ダンスサークルでは、自前の指導者を育成することを目指して、指導者をお願いしている。文化協会としてもバックアップしていきたい。

【中川委員】

指導者への謝礼は、自前で支払うのが普通ではないか。また、牧区あげての夢まつりを開催しているのであれば、マイクロバスを用意し送迎してはいかがか。

【提案者6】

それぞれの団体から、文化協会へ会費を徴収している。その徴収した会費だけでは、夢まつりは開催できない。大事な発表の機会である夢まつりに向けて、普段の練習とは別に、特別練習をするために指導者をお願いしていることを御理解願いたい。また、数年前、マイクロバスを用意したが、利用者がいなかったという経緯がある。

【丸山 進会長】

ほかに質問を求めるがなかったため、事業No.6については終了する。

【丸山 進会長】

事業No.7の提案者に説明を求める。

【提案者7】

事業No.7「剣道活動団結事業」について、提案書により説明。

【丸山 進会長】

委員から質問を求める。

【折笠委員】

予算書の中で高額な木刀があるがどのように使うのか伺いたい。

【提案者7】

その木刀は、二本セットで使うものである。試験を受験する際に必要となる木刀である。

【飯田委員】

今回、団旗を作成したいとのことであるが、以前から話は出なかったのか。

【提案者7】

団旗を購入するよりは、子ども達を指導するうえで必要な防具を優先して購入していた。

【渡辺委員】

予算書の中に、単価の違う木刀があるが、同じものではダメなのか。

【提案者7】

スヌケ木刀が二本セットで試験を受験する際に使うもの。赤檜木刀は長さの短いものである。全く用途が違う。

【丸山会長】

ほかに質問を求めるがなかったため、事業No.7については終了する。

【丸山会長】

事業No.8の提案者に説明を求める。

【提案者8】

事業No.8「宇津小学校同窓会都市交流事業」について、提案書により説明。

【丸山 進会長】

委員から質問を求める。

【丸山会長】

この事業について、旧宇津小学校の跡地で行うのか。

【提案者8】

旧宇津小学校校舎には、調理室と教務室が残っており、白峰山菜加工組合が管理している。2階の豊部屋で展示を行いメイン会場にしたい。

【難波委員】

白峰地区協議会の構成員数と、事業の参加見込み人数をお聴きしたい。

【提案者 8】

構成員数は小平含む・宇津俣・棚広新田町内会の全構成員となる。参加見込みは560人。

【飯田委員】

記念誌の製本の仕方、配布予定について伺いたい。

【提案者 8】

記念誌はA4版、全80頁。写真を40枚程度使い、16頁位はカラー印刷し、300部を業者に委託し製本する。地元の者には配布し、地方の者には希望により購入してもらう。

【丸山会長】

ほかに質問を求めるがなかったため、事業No. 8については終了する。

【丸山会長】

事業No. 9の提案者に説明を求める。

【提案者 9】

事業No. 9「地域の活性化促進事業」について、提案書により説明。

【丸山 進会長】

委員から質問を求める。

【丸山会長】

質問を求めるがなかったため、事業No. 9については終了する。

【丸山会長】

事業No. 10の提案者に説明を求める。

【提案者 10】

事業No. 10「レストハウス『けやき』周辺整備事業」について、提案書により説明。

【丸山 進会長】

委員から質問を求める。

【西山副会長】

レストハウス「けやき」周辺整備の会と食房美咲との関わりをお聞きしたい。

【提案者10】

レストハウス「けやき」(アピール館)は、今年度から沖見地区協議会で使用することになり、沖見地区協議会から食房美咲へ貸付することになった。この事業では食房美咲は関わっていない。

【渡辺委員】

レストハウス「けやき」周辺整備の範囲はどれくらいになるのか。

【提案者10】

灯の回廊で使用している畑部分(私有地)について、所有者の了解を得てコスモスの種を蒔く予定。市の所有地については、遊歩道を整備したうえで、桜の木を植える予定。

【清水委員】

コスモスの種を蒔く畑は、どのくらいの面積になるか。

【提案者10】

約一反歩。

【丸山 進会長】

ほかに質問を求めるがなかったため、事業No.10については終了する。

【丸山 進会長】

事業No.11の提案者に説明を求める。

【提案者11】

事業No.11「サマーナイトイベント開催事業」について、提案書により説明。

【丸山 進会長】

委員から質問を求める。

【飯田委員】

冬のイルミネーションは市内でも多く見受けられる。夏のイルミネーションについて、市内の状況についてお聴きしたい。

【提案者11】

市内商工会関係者に聞いたところ、夏のイルミネーションを点灯しているところはない。ブルーのイルミネーションを増やし、牧区をPRしつつ話題性となることを期待している。

【中川委員】

せっかく良い企画をしているので、婚活パーティーを組み込んでみてはどうか。

【提案者 1 1】

実行委員会があるため検討題材としたい。

【難波委員】

冬のイルミネーション点灯時にトイレを探された方がいた。案内表示が必要なのではないか。

【提案者 1 1】

今後、検討したい。

【丸山会長】

ほかに質問を求めるがなかったため、事業No. 1 1については終了する。

【丸山会長】

事業No. 1 2の提案者に説明を求める。

【提案者 1 2】

事業No. 1 1「歴史、文化、番所、保存事業」について、提案書により説明。

【丸山 進会長】

委員から質問を求める。

【渡辺委員】

石碑を復元するのか。

【提案者 1 2】

石碑ではない。町内会の土地に木材で柱を復元する。町内在住の大工が番所に興味があり、番所めぐりをして研究している。その大工が、町内にある台帳の図面を活用して復元する。

【佐藤委員】

復元するのであれば、実際にあった場所に復元して欲しい。全く違うところにモニュメントを作るのではなく、遊歩道を整備し歴史に沿ったかたちで作製するのであれば地主も了承すると思う。

【提案者 1 2】

採択が決定した際は、番所があった場所の所有者に了解を得たい。

【清水委員】

提案者の言いつばなしではなく、書類で確認できるものがあると良い。

【提案者12】

検討したい。

【丸山会長】

ほかに質問を求めるがなかったため、事業No. 12については終了する。

引き続き、事務局から採択・不採択の結果を発表する。

【事務局】

第1回審査票を集計したところ、採択が11事業、不採択が1事業、補助金希望額が総額5,387千円となった。3番の「ふしぎ池の水位研究を発信し、社会の安全性向上を目指す事業」が不採択になった。これ以外の事業について第2回の審査票に点数を書いて5月9日までに提出していただきたい。

【丸山会長】

この結果は5月15日の協議会で公表となる。

【丸山会長】

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-533-5141 (内線 147)

E-mail : maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。